

～下里小学校は3月末で閉校します

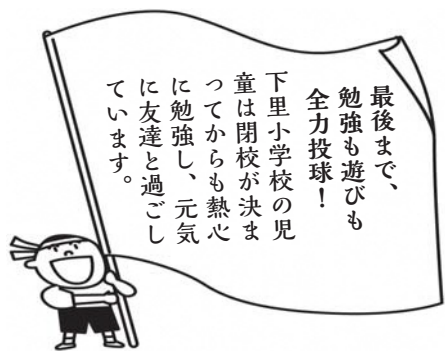
「市のどこに住んでいてもできる限り等しく充実した教育条件や環境の中で学ぶこと」が保障できるよう、市教育委員会では、平成14年11月に「東久留米市立学校再編成計画」を策定しました。平成16年3月末には滝山小学校が閉校し、平成19年8月には「東久留米市立学校再編成にかかる実施概要（基本プラン）」を策定し、平成22年3月末には第八小学校が、平成24年3月末には第四小学校が閉校しています。

そして、平成30年の12月には「西部地域小学校再編成（下里小学校の閉校）に向けた実施計画」を策定し、平成31年第1回市議会定例会において「東久留米市立学校設置条例の一部改正」が可決されました。これにより、昭和53年度の創立から40年あまりにわたり多くの卒業生を送り出してきた下里小学校は、令和2年3月末で閉校することになりました。

今号では今年度の下里小学校の取り組みと、令和2年4月から下里小学校の児童を受け入れる、第七小学校と第十小学校の取り組みを紹介します。

詳しくは学務課学事係 ☎470・7779 または指導室 ☎470・7781 へ。

下里小学校の取り組み



下里小学校では、生きる力を育み、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を図るため、教育目標を「考える子」「思いやりのある子」「じょうぶな子」と定め、さまざまな取り組みを行ってきました。

「考える子」の育成を図るために「下里小 学びスタンダード」を作成し、思考力、判断力、表現力や学びに向かう力、人間性を踏まえた授業が行えるように授業改善を行っています。また、授業のあい間を「学習タイム」とし、算数や国語の定着を把握するため、個人カルテを作成し、実態に合わせた指導を行いました。14年前からは、「滝山おはなしの会」の方により、月1回、昔遊びや手遊びなどを中心に読み聞かせを行う「おはなしタイム」を実施しており（写真1）、小学校生活の6年間で約70～80冊の昔話や物語を聞いたこととなります。たくさんの本を楽しみながら、感じる心、考える心、判断する勇気などの力を育むことができました。

「思いやりのある子」の育成を図るためには、「縦割り活動」を充実させました。縦割り遊び、縦割り集会や縦割り掃除、縦割り給食により異学年との関わりを深め、思いやりの心を育みました。普段の休み時間でも学年を超えて遊んだり、関わったりできたことは、下里小学校の良さと言えるでしょう。人権感覚の育成のためには児童が主体的に関与・参加し、体験する機会を設定しました。運動会や学習発表会などの大きな行事のお知らせや、学校だよりなどを地域の方々に配布し、地域の方々からお褒め（ほ）めの言葉をいただく「良いこと体験」や「東村山市にある国立ハンセン病資料館」に行き、話を伺うなどの体験を行いました。生活科や総合的な学習の時間では、栄養士や地域人材の協力の下、地域の特産である柳久保小麦を活用した食育を行いました（写真2）。

「じょうぶな子」の育成のため、昨年度に引き続き、児童が健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指し、日々運動を楽しむことができるための取り組みや、コーディネーショントレーニングを取り入れた「下里小 アクティブ ライフプラン」を継続的に行いました。運動の日常化（休み時間における外遊びや、パワーアップタイム）、運動技能の育成・向上（子どもの運動技能向上及び教員の授業改善）、健康にたくましく生きる（基本的生活習慣について）を柱に基本的な運動技能や感性を向上させ、健康に関してアクティブ（活動的）になるような取り組みを行ってきました。東京都から、子供体力向上推進優秀校に選ばれました。

このような取り組みを通して、下里小学校の児童は、今年度も充実した学校生活を送ることができました（下里小学校長 湯浅 泰美）。

2月14日、下里小学校で、閉校式とお別れの会の2部構成で、「閉校記念式典」が行われました。

「閉校式」では市長、市議会議長ほか来賓の挨拶や児童からのお別れの言葉に続き（写真3）、最後に、下里小学校の湯浅校長（写真左）から並木市長（写真右）に校旗を返還しました（写真4）。

閉校記念式典を実施しました



写真1



写真2

続いて、「お別れの会」では、歴代の校長や教職員による挨拶があり、改めて、下里小の歴史に思いを巡らせる時間を持つことができました。

この式典後も、卒業式や終業式という区切りの行事が続きます。一つひとつが大切な思い出になります。

第七小学校の取り組み

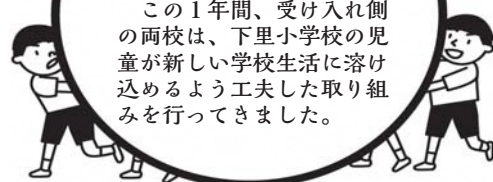
学校再編成により、令和2年度から第七小学校に通うことになる、下里小学校の児童がいます。学校生活ができるだけスムーズに始められるように、今年度には交流事業を計画しました。土曜日の学校公開や運動会、子供まつり、作品展など大きな行事の際には、いつでも見学に来てもらえるようにお知らせを出しました。また、各学年での授業や行事にも参加をしてもらい、交流してきました。

5年生では、1、2学期を通して、総合的な学習の時間で、お米づくり交流を行いました。先ずは6月の田植え交流です。代播（しろか）きでは手足や洋服まで泥だらけになりましたが、5種類の肥料を入れ、しっかりと土を混ぜて、栄養たっぷりの土作りを行いました。そして、バケツと田んぼに苗を植えました。10月には、夏の間、ぐんぐん育った稲の収穫を行いました。「ぐんぐん、ぐんぐん」と音がする稲刈りを緊張しながら取り組み、交流しました（写真5）。

4年生は、7月に理科のプラネタリウム見学で交流しました。「来年は同じクラスに

4月から下里小学校の児童は第七小学校・第十小学校に通います！

この1年間、受け入れ側の両校は、下里小学校の児童が新しい学校生活に溶け込めるよう工夫した取り組みを行ってきました。



《新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ》

市立小中学校は3月2日から全校が休業しています。また、学校施設及び教育施設（図書館、生涯学習センター、市スポーツセンター）等の利用も休止させていただいています（3月15日現在）。



写真5

校の児童が困っていると、本校の児童がさりげなく声をかけ、助け合う場面もありました。スーパリーの営業上の工夫について学び合い、楽しく充実した時間を過ごすことができました。1・2年生は11月

（2面に続く）